

# 昭和小まなび通信



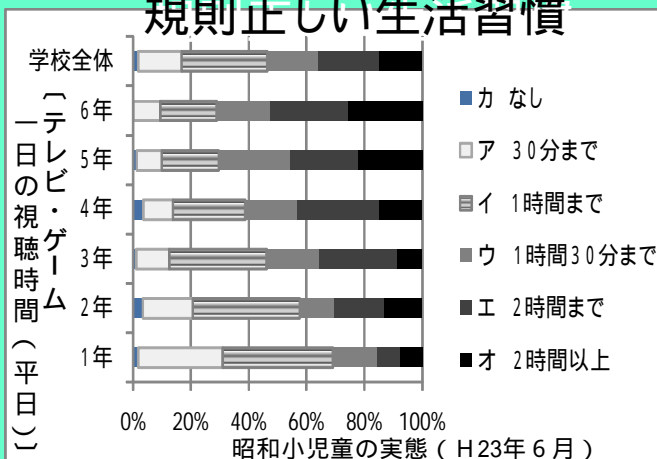
～ 学校・家庭・地域で はぐくむ昭和の子どもたちの夢・未来 ～  
「家庭での学習習慣・生活習慣」編

H23.9.22

## 子どもたちの学力を支えるもの 学習環境・生活習慣の重要性を考えましょう！

生活習慣の乱れが子どもたちの学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つと指摘されています。「全国学力・学習状況調査」の結果から、特に「学力と関係が深い」とされる「規則正しい生活習慣」「家庭でのコミュニケーション」について考えてみましょう。

### 規則正しい生活習慣



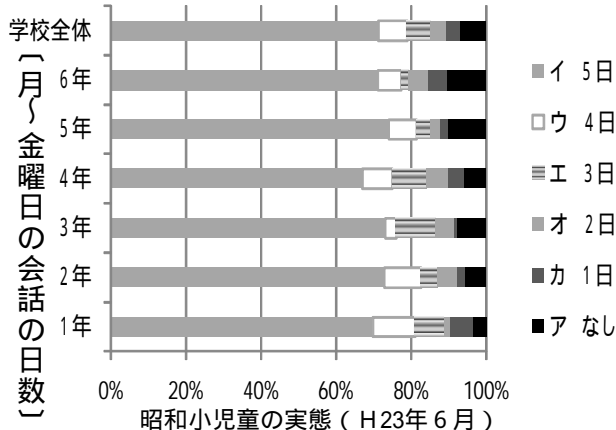
「朝の排便」を！  
早寝早起き  
朝ごはん！

全体で2割を超える児童が2時間以上のTV視聴やゲームをしている。

学年が上がるほど、費やす時間が増えており、家庭学習や就寝時刻への影響が懸念される。

基本的な生活習慣は、学力・学習習慣に大きな影響がある。

### 家庭でのコミュニケーション



多くの家庭で、学校での出来事が話題となる団らんの時間がある。

高学年では会話がなかった家庭が約1割いた。由々しい実態である。

家庭でのコミュニケーションは、学習意欲、自尊意識や相手に対する思いやりの気持ちなど、子どもたちの成長へのエネルギーである。



各ご家庭でチェックしてみてください。(当てはまると思うものには、を付けましょう。)

NO	項目	子ども	保護者
1	家の人と学校での出来事について話をしていますか。		
2	自分の興味あることについて調べたり家の人に質問したりしていますか。		
3	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。		
4	自分に良いところがあると思いますか。		
5	最後までやり遂げて、うれしかった経験がありますか。		
6	朝食は毎日食べていますか。		
7	テレビやビデオ・DVDの視聴時間を決めていますか。		
8	新聞やテレビのニュースに関心がありますか。		

「学力と強い関係の見られた質問項目」(学力・学習状況調査より)